

公表

## 事業所における自己評価総括表 放デイ

|                |                       |           |           |
|----------------|-----------------------|-----------|-----------|
| ○事業所名          | こども発達支援ルームぶらすup 榊林ルーム |           |           |
| ○保護者評価実施期間     | R 7年1月9日              |           | R 7年1月23日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                | (回答者数)    | 13        |
| ○従業者評価実施期間     | R 7年1月14 日            |           | R 7年1月24日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                | 10 (回答者数) | 10        |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R 7年2月28日             |           |           |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること               | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 児童指導員、保育士、機能訓練担当職員など多職種で話し合うことで、活動プログラムが固定化されないよう工夫している。 | 毎月の活動予定を検討する会議で、各職員から提案いただき、様々な活動を検討している。また各職員の得意なことを活かしたプログラムを実施したり、地域住民にも協力をいただきながら、行事に取り組んでいる。 | 活動の定着化を図りつつ、飽きのないよう、新しいことを取り入れ、活動の幅を広げていく。また外部の方に協力いただいたり、地域の施設などを積極的に活用し、子どもたちが「楽しい」「できた」を体験できる場を増やしていく。 |
| 2 | 定期的にお便りやホームページ・システム(HUG)等で、活動概要や行事予定を発信している。             | その日のうちにお子様様子をシステム(HUG)でお知らせをしたり、年3回のぶらすup便りで日頃の様子を写真付きでお知らせしている。                                  | 保護者から頂いた意見をもとに、より見やすく工夫している段階であるが、引き続き様々な意見を取り入れていけると良い。  |
| 3 |  |   |   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                     | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が少ない。   | 父母の会はない状況。保護者参観や保護者セミナーは行っているものの、就労等もあり、なかなか参加数が増えない。 | 父母の会や保護者会の設置となると保護者への負担が大きくなる可能性はあるので、保護者の意見を確認しながら、交流会の開催時期の見直しや魅力があり、参加しやすい内容等を検討していく。 |
| 2 |  |   |  |
| 3 |  |   |  |